

3.15 ストを含む全国いっせい行動

全国の仲間と力を合わせ

大幅増員・処遇改善の実現を

全国の福祉現場では今、SOSの悲鳴が上がっています。「もう持ちこたえられない。でも倒れるわけにはいかないし、倒れたくない！」

深刻な人手不足が何年も改善せず、地域の多様な福祉要求に応えたくても、休憩・休日を取るなど最低限の労働基準法さえ守れませんが、腰痛・頸腕など労働災害が10年以上増え続け、賃金は全産業平均の7割です。

福祉保育労は、昨年続きのこの春闘でも、大幅増員・処遇改善の実現と憲法改悪阻止目指し、ストライキを含む全国いっせい行動に取り組みました。

国政選挙で国民が実現してほしい政策のトップは、改憲ではなく社会保障です。安倍政権が狙う戦争する

全国各地で取り組みすすむ

昨年は、全国11地方組織でスト権が確立され、274分会392職場4621人が全国でストを含むいっせい行動に立ち上がりました。

組織が大きく励ましをもらい成長することができました。

テレビや地元紙が取り上げ、社会的にも注目を集めました。何より取り組みを通じて保護者や経営者、地域との理解と共同が進み、組合員や

権が確立され、東海もスト権投票を開始。忙しい中でも職場討議を重ねると「休みがほしい」「人手を増やして」と切実な声が上がります。群馬では若い保育士の

若者が組合を希望し新分会結成！！

東海地本への激励メッセージ



「組合のある職場に移りたい」という相談から新分会が結成されました。

1月29日にスタートした中央本部のネット署名は2週間弱で1万5千を超えています。

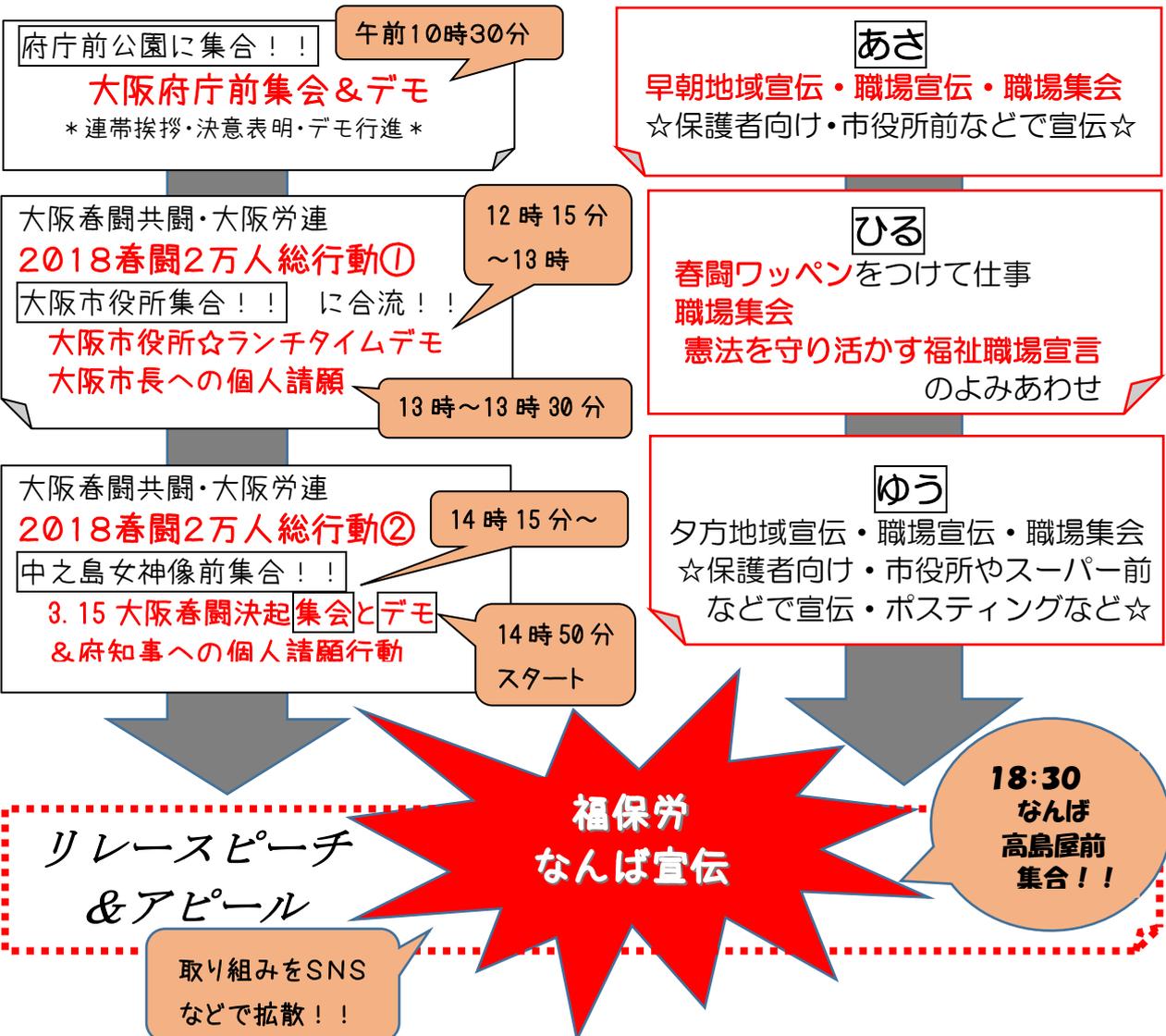
声をあげたくても勇気を出せずにいる多くの福祉労働者、国民との連帯を拡散し、2018春闘と3・15いっせい行動を力強くたたかきましょう。

ストライキに立ち上がり、当事者としての声をあげることは、とても勇気がいる事ですが「現状に耐える力」を「変える力」に転換する第一歩になることは間違いないと思います。そんな皆さんの、第一歩、二歩、三歩...を心から応援しています！

ネット署名 <http://chn.ge/2nr5gi0> 「SOS！福祉職場」

大阪地本のとりくみ

職場(班・分会)のとりくみ



ストライキってどうやるの？

組合員のみなさん

大阪地本は1月にストライキ権確立のための批准投票を実施し投票率 72.2%、賛成 61.5%(全組合員比)でストライキ権を確立しました。この結果を受け、3月15日、他産業の労働者と連帯し、私達の処遇改善と憲法9条改憲反対・憲法を活かす政治を求め、政府に対しストライキを含むいっせい行動をとります。

ストライキ行使のポイント？

- ・国民の福祉要求実現目指し、組合の最大の武器であるストライキ権を行使し全国の仲間と3.15ストライキを含むいっせい行動に立ち上がることに確信を持ちましょう
- ・すべての職場、組合員が何らかの行動に立ち上がりアピールに参加することを目指しましょう
ストライキが可能な職場は具体化を、できない職場はストに変わる取り組みを計画しましょう
- ・利用者、家族、施設に理解と共感を広げ、共同での取り組みを目指しましょう

こんな取り組みかたがあるよ！

- ①全組合員ではなく、特定の組合員が職場を代表してストライキを行う
- ②就業時間中の組合員が施設・園と協議し管理者の応援などをもらい保安体制を確立短時間(例えば15分)ストライキに入り、職場集会を行う。職場宣言を読み上げる